



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 アドバネクス

上場取引所 東

コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴野 恒雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長 (氏名) 大野 俊也

TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,406	16.3	655	103.5	703	117.3	614	85.1
25年3月期第3四半期	17,554	△8.1	321	△35.8	323	17.3	331	339.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,376百万円 (107.3%) 25年3月期第3四半期 664百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
26年3月期第3四半期	円 銭 14.81	円 銭 14.77
25年3月期第3四半期	8.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
26年3月期第3四半期	百万円 20,919	百万円 5,396	% 25.8	円 銭 129.95
25年3月期	18,469	4,072	22.0	97.75

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,388百万円 25年3月期 4,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	13.4	700	63.9	570	5.1	400	△16.3	9.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	41,533,708 株	25年3月期	41,533,708 株
26年3月期3Q	69,812 株	25年3月期	42,283 株
26年3月期3Q	41,481,570 株	25年3月期3Q	41,501,481 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、海外では、中国やアジアの新興国等における成長鈍化が続く一方で、米国景気は堅調に推移しました。また、欧州でも一部の国で信用不安リスクは残るものの、夏以降、景気は回復をたどり始めました。わが国では、日銀の金融緩和策による円安の進行や米国の景気回復を背景に、輸出企業を中心に収益の改善が進んだほか、中小の非製造業においても景況感が徐々に改善しました。こうした中で当社が関連する分野では、自動車市場において、中国の需要回復と北米向けの販売増加により日本からの輸出や海外生産が堅調に推移したほか、OA機器市場においても需要が徐々に回復してきました。当社におきましては、前年同四半期に比べ、自動車向けやOA機器向けの売上が堅調に推移したほか、AV機器向けや医療機器向け、住宅設備機器向けでも売上が増加しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比16.3%増の204億6百万円となり、営業利益は前年同四半期比103.5%増の6億55百万円となりました。経常利益は、円安に伴い為替差益が増加したため前年同四半期比117.3%増の7億3百万円となり、四半期純利益は前年同四半期比85.1%増の6億14百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

[精密ばね事業]

国内では、自動車向けの売上高が増加しました。海外では、中国およびアジアにおいて自動車向けやOA機器向けの売上高が増加したほか、英国において医療機器向けの売上高が増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比18.8%増の114億50百万円、セグメント利益は同84.1%増の4億22百万円となりました。

[プラスチック事業]

国内では、顧客企業において海外への生産移転が進んだことにより、OA機器向け等の売上高が減少しました。一方、海外においては、マレーシアでAV機器向けの売上高が伸びたほか、中国やベトナムで自動車向けの売上高が大幅に増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比16.8%増の87億65百万円、セグメント利益は同157.9%増の3億7百万円となりました。

[ヒンジ事業]

ヒンジユニット販売は、携帯電話向け事業の縮小が進んだことに伴い、売上高は前年同四半期比53.4%減の1億91百万円、セグメント損失は78百万円（前年同四半期は33百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産額は、209億19百万円となり前連結会計年度末に比べ24億49百万円増加しました。

資産の部においては、現金及び預金が6億10百万円増加し、売上高の増加及び円安の影響により受取手形及び売掛金が10億93百万円増加したことから、流動資産合計は20億2百万円増加しました。また、有形固定資産については4億17百万円増加、投資その他の資産が29百万円増加しました。

負債の部においては、負債合計額は155億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加しました。主な内容は、支払手形及び買掛金が3億56百万円増加したことや借入金が1億76百万円増加したこと、前連結会計年度に設立した中国子会社の稼働等により流動負債のその他が5億58百万円増加したことによるものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が53億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億23百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益を6億14百万円計上したことや、円安の影響により為替換算調整勘定のマイナス残高が7億15百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月9日に公表しました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、当社が保有する有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より将来にわたり定額法に変更しております。

この変更は、当社製品の市場別売上高構成比が変化してきたことにより、生産機能や使用実績の見直し等を行ったところ、製品のライフサイクルの長期化によって、有形固定資産の長期安定的な稼動傾向が強くなったため、耐用年数にわたり均等償却により費用配分を行うことが、費消実態をより適切に反映できると判断したことによるものであります。

この変更による影響額は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,424,724	3,035,455
受取手形及び売掛金	4,945,432	6,038,980
商品及び製品	951,073	1,147,200
仕掛品	617,516	639,743
原材料及び貯蔵品	958,440	1,022,410
繰延税金資産	153	11,374
その他	413,703	413,690
貸倒引当金	△18,636	△13,930
流動資産合計	10,292,407	12,294,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,597,795	1,772,410
機械装置及び運搬具(純額)	2,245,924	2,536,736
土地	2,190,360	2,234,574
その他(純額)	898,202	805,839
有形固定資産合計	6,932,282	7,349,561
無形固定資産	204,882	204,780
投資その他の資産	1,040,078	1,069,776
固定資産合計	8,177,243	8,624,117
資産合計	18,469,651	20,919,042
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,463,918	3,820,004
短期借入金	4,422,031	1,880,493
1年内返済予定の長期借入金	1,290,787	1,782,877
未払法人税等	185,232	173,678
賞与引当金	136,440	54,893
その他	938,739	1,497,565
流動負債合計	10,437,150	9,209,512
固定負債		
長期借入金	1,556,584	3,782,270
繰延税金負債	345,901	370,550
退職給付引当金	1,644,576	1,831,420
環境対策引当金	4,506	4,506
資産除去債務	38,522	38,797
その他	369,945	285,936
固定負債合計	3,960,036	6,313,482
負債合計	14,397,187	15,522,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,717	256,717
利益剰余金	3,682,130	4,255,004
自己株式	△4,624	△7,720
株主資本合計	4,934,222	5,504,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,144	67,738
為替換算調整勘定	△899,543	△183,701
その他の包括利益累計額合計	△878,398	△115,963
新株予約権	16,640	8,009
純資産合計	4,072,464	5,396,047
負債純資産合計	18,469,651	20,919,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	17,554,035	20,406,684
売上原価	13,949,437	16,028,761
売上総利益	3,604,597	4,377,923
販売費及び一般管理費	3,282,640	3,722,731
営業利益	321,957	655,192
営業外収益		
受取利息	9,730	9,237
受取賃貸料	69,407	84,084
持分法による投資利益	15,264	—
為替差益	82,086	192,954
その他	75,716	39,633
営業外収益合計	252,206	325,910
営業外費用		
支払利息	180,262	141,774
持分法による投資損失	—	68,209
その他	70,097	67,521
営業外費用合計	250,359	277,505
経常利益	323,803	703,597
特別利益		
固定資産売却益	8,952	4,683
受取保険金	168,350	10,727
負ののれん発生益	5,627	—
新株予約権戻入益	—	16,640
その他	1,039	—
特別利益合計	183,969	32,051
特別損失		
固定資産売却損	914	—
減損損失	45,898	—
固定資産処分損	354	7,180
投資有価証券評価損	17,188	—
災害による損失	—	1,995
お別れの会関連費用	—	27,152
特別損失合計	64,355	36,328
税金等調整前四半期純利益	443,418	699,319
法人税、住民税及び事業税	107,286	107,463
法人税等調整額	4,220	△22,510
法人税等合計	111,507	84,952
少数株主損益調整前四半期純利益	331,911	614,367
四半期純利益	331,911	614,367

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	331,911	614,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,641	46,462
為替換算調整勘定	323,262	691,876
持分法適用会社に対する持分相当額	367	24,095
その他の包括利益合計	332,270	762,435
四半期包括利益	664,181	1,376,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	664,181	1,376,802

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,641,263	7,501,903	410,869	17,554,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,957	10,111	—	79,069
計	9,710,220	7,512,015	410,869	17,633,105
セグメント利益又は セグメント損失(△)	229,469	119,317	△33,975	314,811

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	314,811
セグメント間取引消去	7,146
四半期連結損益計算書の営業利益	321,957

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ヒンジ事業」セグメントにおいて、売却予定の資産の帳簿価額を売却予定価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては45,898千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「プラスチック事業」セグメントにおいて、当社連結子会社であるM. A. C. TECHNOLOGY (MALAYSIA) SDN. BHD. の(株)の追加取得を行い、完全子会社化したことにより負ののれん発生益が生じております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、第3四半期連結累計期間においては5,627千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,450,002	8,765,173	191,509	20,406,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,095	5,863	—	70,959
計	11,515,097	8,771,037	191,509	20,477,643
セグメント利益又は セグメント損失(△)	422,386	307,664	△78,133	651,916

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	651,916
セグメント間取引消去	3,275
四半期連結損益計算書の営業利益	655,192

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。

この変更による影響額は、軽微であります。